

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月6日

上場会社名 コムシード株式会社
 コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂入 万弘
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部ゼネラルマネジャー (氏名) 大網 新吾
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日 配当支払開始予定日 未定

上場取引所 名

TEL 03-5217-5814

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	295	△16.3	5	—	11	—	132	526.6
20年3月期第1四半期	353	12.3	△46	—	△49	—	21	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	3,544.85	3,541.06
20年3月期第1四半期	565.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	1,349	500	500	371	37.1	13,414.24
20年3月期	1,395	371	371	—	26.6	9,953.02

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 500百万円 20年3月期 371百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	600	△9.2	△15	—	△16	—	130	—	3,482.08
通期	1,350	4.9	23	—	17	—	160	101.6	4,285.64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無
- 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	37,500株	20年3月期	37,500株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	166株	20年3月期	166株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	37,334株	20年3月期第1四半期	37,334株

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油価格の高騰や食料・原材料価格等の上昇により、個人消費に鈍化の兆候が見られるなか、米国のサブプライムローン問題を背景とする世界的な金融市場の混乱等により、景気の先行は不透明感を強めております。

当社グループを取り巻く環境といたしましては、携帯電話市場では第3世代携帯電話等の高速データ通信が可能な端末の割合がさらに上昇し（社団法人電子情報技術産業協会調べ）、大容量コンテンツの配信が加速するとともに、パケット定額制が普及し、端末の多機能化と合わせて、ユーザーの利用用途も拡大しております。またパチンコ業界におきましては、遊技人口の減少に加え、パチンコ・パチスロ店舗数が、この数年減少し続けており（警察庁生活環境課調べ）、その結果、店舗間での顧客争奪戦がますます激しくなっております。

このような環境のもと、当社は当期における確実な黒字化及び収益基盤の一層の強化に向け、前期に子会社3社にて行ってきたオンラインゲーム事業及びコミュニティ事業を整理するなど事業の再編を行い、当期は創業以来経験とノウハウを積み重ねてきたモバイル事業へ経営資源を集中させ、業績回復に向けた取り組みを推進しております。

当社グループの主力事業であるモバイル事業につきましては、パチンコ・パチスロをはじめとする特定ジャンルのファンに対し、着メロやアプリ等を配信する携帯公式サイトを運営しております。当社のパチンコ・パチスロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」は、パチスロ機設定判別ツールの投入、きせかえツールをはじめダウンロードコンテンツの充実、スロット及びゲームアプリの拡充等を行った結果、有料会員数が増加に転じました。また、メーカーオフィシャルサイトは、メーカーとのアライアンスを一層強化し、パチンコ・パチスロの新機種導入時のタイムリーな情報や携帯アプリの早期配信を行い、アプリの配信及びコンテンツの拡充も計画通り推移し、かつオリジナル商品の販売についても引き続き順調でありました。パチンコ店舗向けASPサービス（有料店舗情報サービス）は、パチンコ・パチスロ店舗向けソリューション開発・販売を行うプレモ株式会社と資本提携を行い、利便性の高いサービスのパチンコ店舗への提供・サービスラインナップの拡充を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は295,776千円、営業利益は5,863千円、経常利益は11,697千円となりました。

また、四半期純利益につきましては、オンラインゲーム事業で所有していたゲームの著作権・営業権等の譲渡による事業譲渡益25,000千円及びライセンス契約解約益による95,883千円を特別利益に計上し、132,343千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債、純資産に関する分析

資産は、前連結会計年度末に比べて45,814千円減少し、1,349,499千円となりました。これは主として現金及び預金の減少14,713千円、売掛金の減少7,214千円、流動資産その他の減少51,599千円、有形固定資産の増加35,370千円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて175,035千円減少し、848,691千円となりました。これは主として買掛金の増加7,986千円、賞与引当金の減少6,868千円、事業整理損失引当金の減少71,308千円、流動負債その他の減少123,029千円、固定負債その他の増加22,561千円等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて129,221千円増加し、500,807千円となりました。これは主として、四半期純利益132,343千円によるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度の26.6%から37.1%と上昇しました。

2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、営業活動の結果、使用した資金は3,122千円となりました。これは主に、法人税等の支払によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資活動の結果、使用した資金は10,532千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは該当事項はありませんでした。

以上により、当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、前期末に比べ14,713千円減少し、752,719千円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、前期に事業の再編を行うとともに、今期に入ってから引き続き、役員報酬及び組織のスリム化に合わせた人件費の削減、並びに地代家賃をはじめとする固定費の見直しなど、徹底した経費の削減を行い、安定した利益体質への転換を推進してまいりました。

その結果、営業利益及び経常利益につきましては、当初の計画を上回る見通しで業績が推移しておりますが、経済状況及び市場環境等の変動等を鑑み、今回業績予想の修正は行っておりません。

また当期純利益につきましては、第1四半期において、前期に事業整理を行いましたオンラインゲーム事業で所有していたゲームの著作権・営業権等の譲渡による事業譲渡益25,000千円及びライセンス契約解約益95,883千円を特別利益に計上したことにより、第2四半期累計期間及び通期における業績予想を修正いたします。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、前々連結会計年度に31,264千円、前連結会計年度において579,329千円の営業損失を2期連続して計上する結果となりました。さらに、前連結会計年度に321,637千円と重要なマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しております。

第1四半期連結会計期間は、5,863千円の営業利益となったものの、営業キャッシュ・フローは3,122千円のマイナスを計上しております。当該状況により、当社グループには継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

連結財務諸表提出会社である当社は、当該状況を解消すべく、平成20年3月31日の取締役会において、これまで積極的に先行投資を行いながらも早期の収益化が困難であったオンラインゲーム事業及びコミュニティ事業を整理し、創業以来経験とノウハウを積み重ねてきたモバイル事業に経営資源を集約する体制へ転換いたしました。当期は安定した収益基盤を築くため、グループ全体にて人件費をはじめとするコスト削減策を進め、業績の改善を図っております。

連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な疑義の影響を連結財務諸表には反映しておりません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

当社グループは、従来、事業の種類別セグメントに関連付けて記載しておりましたが、連結子会社3社にて行ってきたオンラインゲーム事業及びコミュニティ事業について、前事業年度末に事業を休止し、モバイル事業の単一セグメントとなったため、事業の種類別セグメント情報は記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	752,719	767,433
売掛金	289,163	296,377
商品	14,202	17,064
貯蔵品	4,562	8,097
その他	34,786	86,385
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	1,095,416	1,175,340
固定資産		
有形固定資産	※ 42,364	※ 6,993
無形固定資産	86,207	87,277
投資その他の資産	125,511	125,701
固定資産合計	254,082	219,973
資産合計	1,349,499	1,395,313
負債の部		
流動負債		
買掛金	168,900	160,914
未払法人税等	1,043	2,979
賞与引当金	1,402	8,271
事業整理損失引当金	28,691	100,000
その他	69,676	192,706
流動負債合計	269,715	464,871
固定負債		
新株予約権付社債	500,000	500,000
退職給付引当金	16,765	19,206
役員退職慰労引当金	19,329	19,329
その他	42,881	20,320
固定負債合計	578,976	558,856
負債合計	848,691	1,023,727

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	663,000	663,000
資本剰余金	648,500	648,500
利益剰余金	△785,603	△917,946
自己株式	△17,355	△17,355
株主資本合計	508,541	376,198
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△762	△827
為替換算調整勘定	△6,971	△3,784
評価・換算差額等合計	△7,734	△4,611
純資産合計	500,807	371,586
負債純資産合計	1,349,499	1,395,313

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	295,776
売上原価	166,490
売上総利益	129,286
販売費及び一般管理費	※ 123,422
営業利益	5,863
営業外収益	
受取利息	245
為替差益	5,678
その他	337
営業外収益合計	6,261
営業外費用	
支払利息	427
営業外費用合計	427
経常利益	11,697
特別利益	
ライセンス契約解約益	95,883
事業譲渡益	25,000
特別利益合計	120,883
税金等調整前四半期純利益	132,580
法人税、住民税及び事業税	237
四半期純利益	132,343

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	132,580
減価償却費	16,020
ライセンス契約解約益	△95,883
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,868
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△71,308
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,441
受取利息及び受取配当金	△245
支払利息	427
為替差損益(△は益)	△5,678
売上債権の増減額(△は増加)	7,214
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,396
仕入債務の増減額(△は減少)	7,986
その他	11,030
小計	△767
利息及び配当金の受取額	245
利息の支払額	△427
法人税等の支払額	△2,173
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,122
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△10,787
投資有価証券の取得による支出	△50
敷金及び保証金の回収による収入	305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,532
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,058
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△14,713
現金及び現金同等物の期首残高	767,433
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 752,719

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	353,357
II 売上原価	187,792
売上総利益	165,564
III 販売費及び一般管理費	211,842
営業損失	46,278
IV 営業外収益	206
V 営業外費用	3,112
経常損失	49,184
VI 特別利益	69,689
VII 特別損失	95
税金等調整前四半期純利益	20,410
税金費用	△710
四半期純利益	21,120

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引調整前前第1四半期純利益	20,410
減価償却費	18,550
賞与引当金の減少	△6,478
退職給付引当金の増加	2,154
貸倒引当金の増加	12
ポイント引当金の減少	△853
受取利息及び配当金	△126
売上債権の増減額(増加:△)	11,555
たな卸資産の増加額(増加:△)	△2,760
仕入債務の増減額(増加:△)	△7,873
その他	△47,360
小計	△12,768
利息及び配当金の受取額	126
法人税等の支払額	△9,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	△21,757
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△420
無形固定資産の売却による収入	15,000
無形固定資産の取得による支出	△600
投資有価証券の売却による収入	19,872
保証金の差入れによる支出	△55,465
子会社エバーワークス社の株式売却による収入(純増)	20,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,104

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	7,000
短期貸付金の回収による収入	33,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,400
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	17,538
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	1,007,555
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	1,025,093

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	モバイル事業 (千円)	オンライン ゲーム事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	353,357	—	353,357	—	353,357
営業費用	282,215	18,619	300,835	98,800	399,635
営業利益又は営業 損失 (△)	71,142	△18,619	52,522	△98,800	△46,278

(注) 1. 事業区分の方法

当社の事業区分は、内部管理上採用している区分のによっております。

2. 各区分に属する主な事業内容

事業区分	事業内容
モバイル事業	パチンコ・パチスロ関連のコンテンツ配信等
オンラインゲーム事業	オンラインゲームの国内及び海外におけるサービス・開発

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、当社の総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

前第1四半期連結会計期間において本那以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、当該事項はありません。

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

前第1四半期連結会計期間において海外売上高がないため該当事項はありません。